

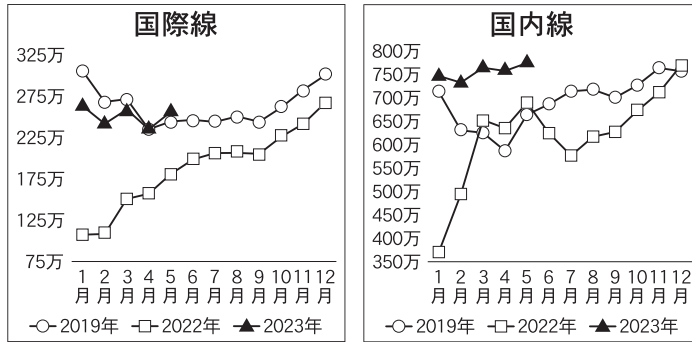
JNTOデリー事務所

山本 祐輔 所長

99

## インドの訪日市場

<デリー・ムンバイの空港利用者数> (単位：人)



(出典)インド空港局(Airports Authority of India)発表データ

## 日印観光交流年で誘客拡大

開していた。2023年5月の国際線利用者数(デリー・ムンバイの合計)は既にコロナ前を4.8%上回り、国内線利用者数(同)にいたってはコロナ前を16.8%上回るなど人の移動はコロナ前より活発になっている。日印間に目を向けてみ

ると、2022年は日印国交樹立70周年という記念すべき年であり、本来はインドにおいて日本への関心が高まり、訪日観光客の増加が期待できるはずであった。しかし、コロナ禍の影響で人的移動が制限されたため、2022年度のインドからの

訪日客数はコロナ前の2019年と比べて69%減の5万4314人にとどまった。しかし、訪日旅行再開後、インドからの訪日客数は順調に増加し、6月に調子増加としており、約5000人の来場者は日印の有名シェフが調理したカレーや、インド進出日系食品・飲料メーカーや日本食

レストランが提供した日本食や酒類を味わった。観光業界からはJNTOデリー事務所と日本航空が出展し、G7広島サミットの会場となった広島島の観光情報や、インドから羽田・成田経由で広島に乗り継ぐフライト情報を来場者に提供した。同じスペースでは、キャノン・インドニアが敵島神社の鳥居をイメージしたフォトブースを設置し、来場者を同社のミラーレスカメラで撮影した後、インクジェットプリンターでプリントするサービスを提供し人気を博していた。

訪日客数はコロナ前の2019年と比べて69%減の5万4314人にとどまった。しかし、訪日旅行再開後、インドからの訪日客数は順調に増加し、6月に調子増加としており、約5000人の来場者は日印の有名シェフが調理したカレーや、インド進出日系食品・飲料メーカーや日本食

G7広島サミットにはインドのモディ首相も招待され、インド政府が広島市内にガンジューの胸像を寄贈したことなどがインドでも報じられた。日印観光交流年をきっかけとして日本への注目が高まり、さらに多くのインド人が日本を訪れることを期待したい。

(月1回掲載)